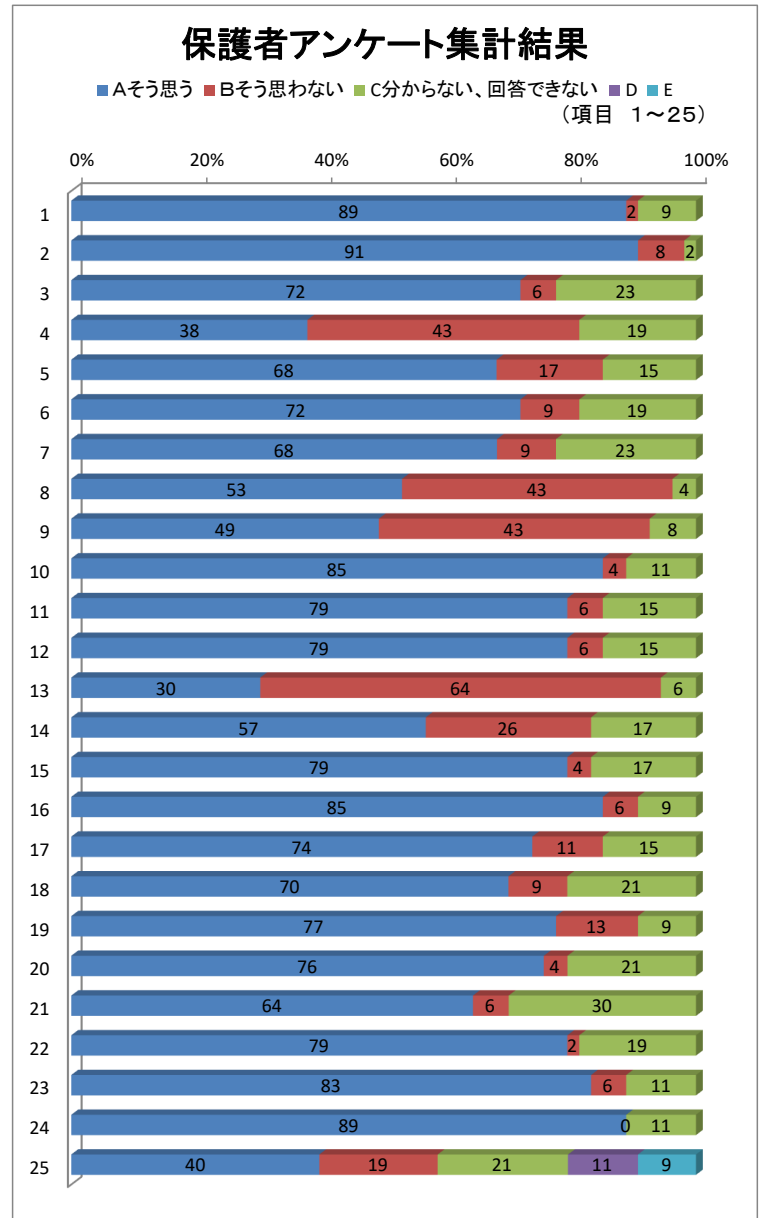


保護者の皆様

十四山西部小学校長 大友 亜古

保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。集計ができましたので、アンケートの結果を報告させていただきます。

項目	質 問
1	運動場、校地はよく整備されている。
2	校舎内や教室は美しく設営されている。
3	学習や活動に必要な設備が整備され安全に保たれている。
4	地域で子どもたちはよくあいさつをしている。
5	子どもたちは交通ルールをよく守り安全に登下校している。
6	子どもたちの服装や言葉遣いはきちんとしている。
7	学習内容が身に付いている。
8	夏休みや冬休み中、自分で課題を決めて学習している。
9	自主的に家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。
10	子どもたちの様子は生き生きとしている。
11	子どもたちは友達と仲良く生活できている。
12	子どもたちに思いやりの心が育っている。
13	子どもは、家で読書をしている。
14	物事に粘り強く取り組む態度が育っている。
15	学校は、プログラミング教育、英語教育、道德教育、食育、防災教育など、大切な教育課題に取り組んでいる。
16	学校は、授業に体験的な学習を取り入れている。
17	先生は、子どもをよく理解し指導している。
18	先生は、悩みや相談事に親身になって応じている。
19	学校だよりや学年だより、学校ホームページにはよく目を通している。
20	学校は子どもたちや学校の様子を保護者に伝えている。
21	学校は教育方針や目標を保護者に伝えている。
22	学校は地域のよさを生かした教育活動を行っている。
23	学校での教職員の対応は、親切で話しやすい。
24	学校での電話の対応など、丁寧で分かりやすい。
25	家庭での1週間の勉強時間。 A 3時間未満 B 3～4時間未満 C 4～5時間未満 D 5～7時間未満 E 7時間以上 (土日も学習塾も含む)



A(そう思う)が80%以上の高い評価の項目・・・1、2、10、16、23、24
A(そう思う)が50%以下の低い評価の項目・・・4、9、13(25は除く)

新型コロナウイルス感染症の扱いが、2類から5類に変わり、学校も家庭も社会も、少しずつコロナ禍前の日常を取り戻しつつあります。そんな中、保護者の皆様には本校の教育活動に対し、ご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。学校では、学習や生活におけるタブレット端末等の活用やグループでの対話活動を取り入れ、自ら考えて進んで学ぼうとする力の育成を図っています。引き続き、「なりたい自分になる」ために、子どもたちにとって本当に大切な学びは何かを探りながら、教育活動を進めてまいりたいと思います。今後も変わらぬご支援・ご協力をいただければ幸いです。

今年度は、「運動場や校舎内の環境整備」「子どもたちの様子は生き生きとしている」「授業に体験的な学習を取り入れている」「教職員の親切で話しやすい雰囲気」「教職員の電話対応」の項目で、肯定的な意見をいただきました。ただ、「子どもたちのあいさつ」「自主的に家庭学習に取り組む習慣」「家での読書」については、まだまだできていないと感じる方が多くみえます。あいさつや礼儀については、機会をとらえて、引き続き根気強く声かけと指導を続けていきたいと思っています。家庭学習への取組の仕方や読書習慣の定着についても、今後も継続して指導していきたいと思っています。ご家庭でのお声かけもよろしくお願いいたします。

昨年度と比べると、19の項目で「そう思う」の回答の割合が増え、20の項目で「そう思わない」の回答の割合が減りました。保護者の皆様の多くが本校の教育に対して、肯定的な考えをもっていらっしゃる事が、大変よく伝わりました。今後も子どもたちや学校の様子、教育方針や目標について保護者の方に伝えるよう、様々な機会を通して、お伝えするとともに、教師が心にゆとりをもって子どもたちを見守り、一人一人に寄り添えるよう心がけてまいります。子どもたちが安心して生き生きと生活し、よりよく学び続けることができる十四山西部小学校であるよう、今回のアンケート結果とご意見を活かしていきたいと思っています。ご協力、ありがとうございました。